

台風9号

台風9号は7月9日(木)大型で非常に強い勢力となり、10日(金)には中心気圧935hPa、中心付近の最大風速45m/sとなり最も発達。その後、勢力を維持しながら宮古島の北東の海上を北西に通過しました。

暴風域に入った時間帯は、沖縄本島地方で9日21時頃、宮古島地方で10日0時頃、石垣島地方で10日6時頃でした。暴風域から抜けた時間帯は、石垣島地方で10日13時頃、沖縄本島地方で10日16時頃、宮古島地方で10日17時頃でした。

各地における最大瞬間風速は、南城市系数で49.9m/s、久米島空港で44.8m/s、渡嘉敷島で43.4m/s。

今回の台風においても、宮古・八重山および沖周電業所の復旧に備えた要員29人の事前配置や資機材の準備に努めるとともに、復旧作業においては本島各支部(沖周含む)、宮古支部に社員、関係会社、協力会社の総勢640人を動員し復旧に当たりました。

台風9号進路図



設備被害状況

電線断線[高圧]	42 条・スパン
電線断線[低圧]	7 条・スパン
柱上変圧器破損	12 台

停電状況

最大時停電戸数 42.2 千戸(7/10 5:00)



復旧作業の様子(那覇市宇栄原)



電線への樹木接触(那覇市三原)